



2013.3.10

まわりで、何を显したいか？

豊里実顕地では今、「道の駅プロジェクト」で盛り上がっている。「村人みんな実行委員」でやっていこう、という声が出ている。

これは、養鶏法受け入れや、アリンの研金賛会からの流れがあって、そうやってきた。やっていきたいのは、こういうこと。

この同じ流れの中で、まわりを考えていきたい。日頃やっていることが、まわりを通して显れてくる。



大きな社会実験

会社を休んで、初めてのタダ働き。誰にやれと言われたわけでもなく、ごみ拾いをして、「この快適さ！ 味わっている自分って、何だろう。」って。それで、石開学に行って。まわりは、自分の原点に近づいている。



「6月に、一志で養鶏法をやろう会」が、きのうから始まって、楽しいです。

まわり当日、私は行けなかったかもしれないけど、もう、火焼きそばは、やり気です。

楽しんで、わくわくするのをやりました。

来てくれた人が、どんな風に楽しんでくれるか？人が楽しんでもらえるのを、止めないで、思いっきり考え子のが楽しい。

「おなげようとしてなくても、おなげようていく」。そうなんだけど、私はおなげようとしていたい！



加賀に帰ったら、まわりの研金賛会をしようと思う。今までは、「どうせ、遠くて、行けなかったからいいでしょう」と思っていた。今年は、「みんなと研金賛会をさす。」これだけでもいいと思った。こんな簡単なこと、今まで思いつかなかった。



「大きな社会実験」って、どんなことなんだらう……
「仲よし」とか「金の要らない」とか「持ち寄り的心」とか……
そこを、もっと掘り下げて、実際に、自分だったらどんなことか、みんなまで考えていってあげて。